

台風発生時にとるべき行動



風水害について

避難行動判定フロー

避難行動判定フロー

あなたの避難先は？

この「避難行動判定フロー」を使って、日頃から避難先を決めておきましょう。



ハザードマップで自分の家を確認
自宅がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りより低い土地などにお住まいの方は、高石市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則立退き避難(自宅の外に避難)が必要です

避難先① 安全な親戚・知人宅などへ避難



事前に相談していた浸水区域外の避難先へ避難
▶やむを得ない場合は浸水区域内の安全な場所も検討

避難先② 避難場所避難など



ハザードマップに記載された指定緊急避難場所などへ避難

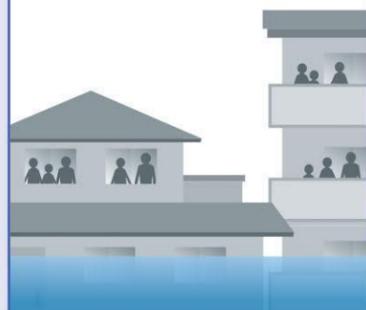
避難のタイミング

警戒レベル 3	高齢者等避難	避難に時間のかかる高齢者や障がい者は避難	警戒レベル 4	避難指示	危険な場所から全員避難
-------------------	---------------	----------------------	-------------------	-------------	-------------

例外

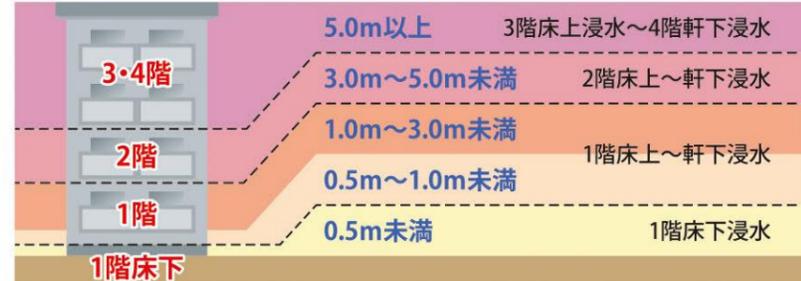
自宅上階などの安全な場所に避難

避難先③ 屋内安全確保



「3つの条件」が確認できれば、浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 浸水深より高い位置に居室がある



② 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

入っていると…
地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。



③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

十分じゃないと…
水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります。

避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

-  **状況により、早めに避難しましょう**
● 避難の準備を心がけ、周辺の状態を確認し、早めに避難しましょう。
● 両手を自由に使えるようにして、脱げにくい運動靴を履き、安全に避難しましょう。
-  **住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持ちましょう**
● 特に連絡先などを伝えることが難しい人は、事前に防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。
-  **非常持ち出し品はコンパクトにまとめましょう**
● 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
-  **外出中の家族とは連絡を取り合しましょう**
● 「どこどこへ避難する」といったような連絡を取り合しましょう
-  **集団で助け合しましょう**
● 単独での行動は避け、近所の人たちと助け合いながら避難しましょう。
-  **やむを得ない場合を除いて、車での避難は控えましょう**
● 車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。
-  **できるだけ安全なルートで避難しましょう**
● 川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
-  **避難所などでは係の人の指示に従いましょう**
● 避難所などに着いたら、住所、氏名などを報告し、係の人の指示に従いましょう。